

【平成12年度】設 計 課 題 「高原に建つペンション(鉄筋コンクリート造2階建)」

1. 設計条件

- 高原に建つペンションを計画する。  
計画に当たっては、次の①、②に留意すること。
- ① ラウンジは、パーティー等にも利用できるように計画するとともに、十分な天井高を確保した豊かな空間とする。
  - ② 食堂と宿泊室は、南側の景勝地への眺望に配慮する。

(1) 敷地及び周辺状況

- ア、小高い丘にあり、南側に景勝地が望める。形状、道路との関係、方位等は、図－1のとおりである。
- イ、用途地域その他の指定はない。
- ウ、敷地は平坦で、道路、東側隣地及び西側隣地との高低差はないが、敷地の南側の緑地は、南下がりに傾斜している。また、地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- エ、電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数

鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)、2階建てとする。

(3) 延べ面積

260㎡以上、290㎡以下とする。  
(ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、バルコニー、駐車スペース等は、床面積に算入しない。)

(4) 人員構成

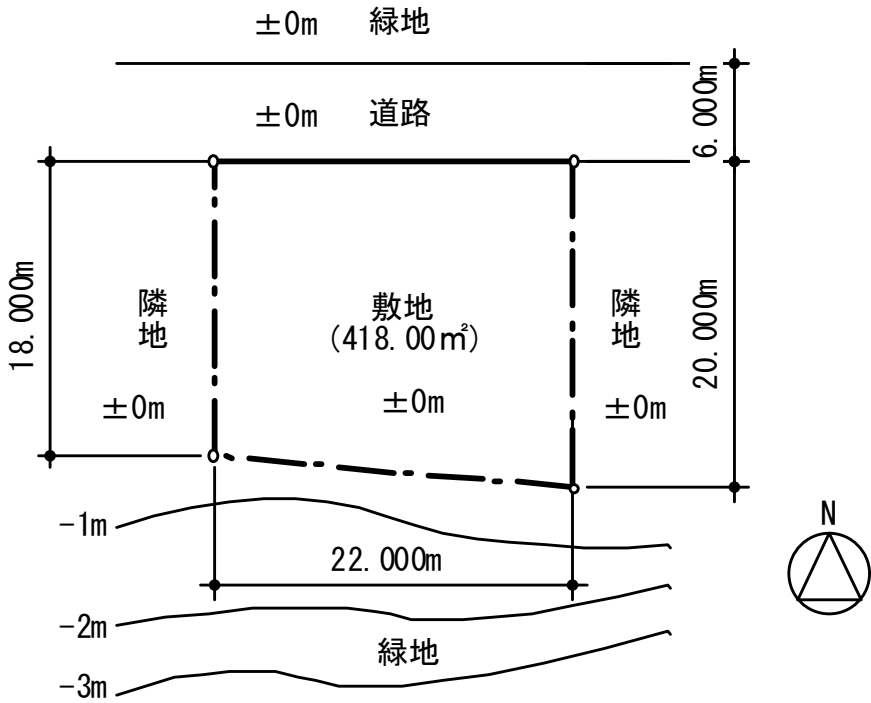
経営者(オーナー)は50歳代の夫婦

(5) 所要室

下表の所要室は、すべて計画する。

所 要 室		設置階	特 記 事 項
宿 泊・共用部分	宿 泊 室 ( 4 室 )	2 階	ア. ユニットバス※を含み、1室につき15㎡以上とする。 イ. ベッド2台を設ける。 ウ. バルコニーを設ける。
	ラ ウ ン ジ	1 階	ア. 40㎡以上とする。 イ. 宿泊客がくつろげる空間とし、パーティー等にも利用する。 ウ. 天井の最高の高さを5m以上とする。 エ. グランドピアノ(図－2参照)1台を配置する。
	食 堂	1 階	ア. 20㎡以上とする。 イ. テーブル(4人掛け)を4卓以上設ける。
	玄関ホール		ア. 履物を履替えるか否かの計画は、自由とする。 イ. 出入口の幅の内法は、1200 mm以上とする。 ウ. 受付カウンターを設ける。
	便 所	1 階	ア. 男女別に設ける。 イ. 車椅子使用者便所を1室設ける。 ・広さは、心々2,000 mm×2,000 mm以上とする。 ・出入口の幅の内法は、800 mm以上とする。
管 理・住居部分	厨 房	1 階	・15㎡以上とする。
	和 室	1 階	ア. 8帖以上とし、収納を設ける。 イ. オーナーが休息、就寝等に使用する。
	浴室・便所	1 階	ア. オーナー用とし、ユニットバス※でもよい。 イ. 便所は、厨房からの使用も兼ねる。
	倉 庫	1 階	・3㎡以上とする。
	そ の 他 (洗濯機置き場)	1 階	・オーナーが洗濯などの家事作業をするためのスペースとする。

※ ユニットバスは、浴室、洗面器及び便器が備えられたものとし、心々1,200 mm×1,600 mm以上とする。



図－1 敷地図

(6) 建築物の最高の高さ等

建築物の最高の高さは、10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。

(7) 屋外テラス

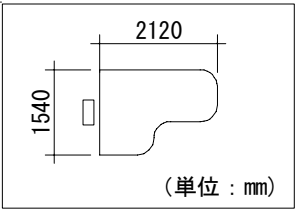
- ア. 敷地内に、30㎡以上の屋外テラスを設ける。
- イ. 屋外テラスは眺望の良い場所に計画し、食堂と一体的に利用できるように配慮する。

(8) 駐車スペース

敷地内に、小型乗用車(サービス用)2台分の屋外駐車スペースを設ける。また宿泊客等の駐車スペースは、敷地の近くにあり、計画しなくてよい。

(9) その他

- ア. 建築物内に、エレベーター1台を設ける。
- ・エレベーターシャフトは、心々2,000 mm×2,000 mm以上とする。
  - ・駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし、機械室は設けなくてよい。
  - ・出入口の幅の内法は、800 mm以上とする。
  - ・昇降ロビーの幅及び奥行きは、それぞれ内法を1,800 mm以上とする。
- ウ. 建築物内又は敷地の通路において高低差がある場合は、必要に応じてスロープ(勾配1／15以下)を設ける。



図－2 グランドピアノの参考図

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみ出して記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mmである。

要 求 図 書 ( )内は縮尺	特 記 事 項
(1) 1階平面図兼配置図 (1／100)	ア、敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する。 イ、1階平面図兼配置図に、屋外テラス、塀、植栽、駐車スペース等を記入する。 ウ、室名を記入する。
(2) 2階平面図 (1／100)	エ、所要室には、次のものを記入する。 ・各宿泊室に、ユニットバス(スペースを破線で記入すればよい)、ベッド2台 ・ラウンジに、グランドピアノ1台 ・食堂に、テーブル、椅子 ・玄関ホールに、受付カウンター ・便所に、便器、洗面器 ・浴室・便所に、浴槽、洗面器、便器(ユニットバスの場合は、スペースを破線で記入すればよい) ・洗濯機置場に、洗濯機 オ、2階平面図に、1階の屋根伏図(平屋部分がある場合)も記入する。 カ、断面図の切断位置を記入する。
(3) 立面図 (1／100)	・南側立面図とする。
(4) 断面図 (1／100)	ア、切断位置は、ラウンジを含み1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ、建築物の外形及び床面、天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(はり、スラブ、地中ばり、基礎等)を記入する。 ウ、建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。
(5) 面積表	ア、建築面積、床面積及び延べ面積を、答案用紙の面積表に記入する。 イ、建築面積及び床面積は、計算式も記入する。 ウ、数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(6) 仕上表	ア、外部の主要な部位、(屋根、外壁)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。 イ、内部(ラウンジ)の主要な部位(床、内壁、天井)の仕上材料名及び下地材料名を記入する。